

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会

(平成 26 年度第 4 回)

議 事 録(案)

2015 年 3 月 19 日 (木) 開催

| 時 間 | 15:00～17:00 | 場 所 | 地盤工学会会議室 | | |
|---------------------------------------|-------------|---------------------------------------|----------|---------|---|
| 工 藤 委 員 長 | ○ | 亀 村 オフ ^ス サー ^バ ー | ○ | 田 中 委 員 | ○ |
| 山 口 委 員 | ○ | 野 崎 委 員 | ○ | 西 岡 委 員 | ○ |
| 小 林 委 員 | × | 岩 崎 委 員 | ○ | 熊 野 委 員 | ○ |
| 渡 邊 委 員 | ○ | 清 木 委 員 | ○ | 隅 倉 委 員 | ○ |
| 高 原 オフ ^ス サー ^バ ー | ○ | | | | |

○：出席 ×：欠席 △：未定

議事録担当者：熊野

【前回議事録の確認】

【別紙 - 1】 pp. 1-3

・承認された。

【議 題】

【報告事項】

1. 会員・支部部の動き (工藤委員長) 【別紙 - 2】 pp. 4-6
 - ・ダイバーシティ減免制度は来年度も継続することが決定された。ダイバーシティ減免制度を利用し、減免資格を喪失した後も学会に残っている会員は、利用者のうち半数程度である。現在取得しているデータだけでは定量的な制度評価ができないため、減免資格喪失者へのアンケートなどを行う必要がある。
→現在のデータで可能な分析として、減免制度利用者の属性毎の傾向を調べてはどうかという意見があり、工藤委員長が解析することとなった。
 - ・運営委員会委員として汗をかいてくださった会員へのインセンティブ付与を会員支部部会から理事会に提案している。規約の改正が必要なインセンティブについては 6 月の総会での承認に間に合わせたい。本件につき意見がある場合は、なるべく早くメールにて委員長あてにいただきたい。
2. 土木学会ダイバーシティ推進委員会動向 (工藤委員長) 【別紙 - 3】 pp. 7
 - ・2 月に土木学会ダイバーシティ推進委員会が実施され、工藤委員長が参加してきた旨、報告があった。土木学会では「土木学会の行動宣言～土木界のダイバーシティ&インクルージョン推進に向けて～」という提言書を作成している。最近、土木学会でも地盤工学会同様、理事会や委員会への女性登用を開始したが、ダイバーシティ委員会が各委員会の要請に対し女性の人材を紹介するようになってきている。地盤工学会のダイバーシティ委員会では紹介できるほどには人材を把握していないため、今後の課題としたい。
3. 男女共同参画学協会連携会 (工藤委員長, 熊野) 【別紙 - 4】 p. 8-14
 - ・平成 27 年第 1 回男女共同参画学協会連携会が開催された旨、報告があった。本会にて、昨年度の会計報告なされ、また、今回からプラズマ学会、核融合学会が新規加盟学会であることが報告された。
4. 平成 27 年度予算(工藤委員長) 【別紙 - 5】 pp. 15-18
 - ・来年度の予算が報告された。多くの委員会が第二次予算案からさらに削減されたのに対し、当委員会は第二次予算を承認いただけた。期待に応え委員会としてきっちり成果を出していく必要がある。

- ・会員支部部への要請である「65歳以上のシニア層の会員引きとめ策の提案」について、会費の減免が一番の引き留め策になると思われるものの、現行のプレミアム会員制度(割引率 25%)の縛りがあるため 25%以上の割引が難しいという報告に対し、委員から下記のような案や意見が挙げられた。
 - シニア会員ならではの必要なサービスに料金(基本料金)を設定し、その他は課金システムとする。
 - シニア会員は全国大会の参加費・講習会費などの免除などの検討をする。
 - プレミアム会員制度利用者の属性を調べる。

【審議】

1. 北海道大会サロン・土・カフェW開催報告(田中委員, 熊野委員)【別紙-6】pp. 19-20【別途資料】

- ・北海道科学大学のG棟 2Fのオープンスペースで実施する旨、報告された。オープンスペースでの開催になることから、間仕切り設置したいと要望が出て、田中委員から開催者側に確認することとした。

2. 北海道大会特別セッション(工藤委員長, 西岡委員)【別紙-6】p. 21

- ・特別セッションにて6月に開催される若手ワールドカフェの報告を実施する。
- ・上記の報告以外では講師の選任が必要であり、4月末までには決める必要がある。女性枠は開催地の北海道の地域性を活かした女性技術者が適任だと考えられる。心当たりがある場合は、工藤委員長まで連絡するよう依頼があった。シニア枠は山口委員のお知り合いに声かけをしてみる。

3. ダイバーシティ小特集(担当:工藤委員長, 渡邊委員)【別途資料】

- ・各記事の査読・校正担当者を決定した(1原稿につき2名)。
- ・以下のことを念頭において、校正する。
 - 句読点など内容に関わらない部分はこちらで修正する。
 - オフィス(ワード)の履歴機能を利用する。
 - 参考文献のフォーマットは昨今の学会誌を参考に体裁を整える。
 - 画像やイラストを使用する場合は著作権を確認する。
- ・4月20日を目途に作業を行う。4月末、遅くともGW明けには執筆者にお知らせする。
- ・執筆者への連絡は工藤委員長が担当する。

4. 第3回目若手座談会(担当:隅倉委員, 渡邊委員)【別紙-7】p. 22

- 以下の事項が決定された。
- ・開催日は6月9日に決定した。
 - ・対象は20代の若手を中心として、社会人1~3年目、学生(博士課程)そしてポスドクにする。目標人数は30人程度とする。
 - ・勧誘活動は4月上旬に企業・個人を中心に実施する。

5. サポーターメール(担当:山口委員)【別途資料】

- ・札幌大会の日程が決まり次第mail文面を作成・配信するように山口委員に依頼があった。またその際、北九州大会のWeb版の記事のリンクを添付するようお願いがあった。

6. ダイバーシティのHP(担当:熊野委員)【別途資料】

- ・過去の記事(PDFファイル)が一部欠損しており、リンクさせるよう熊野委員に依頼があった。ホームページ(案)を作成し、mailにて審議する。

【情報提供】

7. 北陸支部の女性の会(雪割り草の会)(高原オブザーバー)【別紙-8】p. 23-42

- ・雪割り草の会は女性技術者の情報交換を目的としており、地盤工学会北陸支部と関東地方整備

局が合同となり、女性技術者の交流の場となっている。

- ・2014年8月4日(月)に実施された現場見学会と懇談会について報告があった。
- ・現在、女性技術者が活動するなかで「支援」という文言がよく使われるが、今後は子供を育てながら、女性が仕事を続けられるよう、「普通なこと」になるよう活動していく必要がある旨、報告された。

【その他】

1. 本委員会の委員の補強

【資料なし】

- ・もう若干名、新委員の補充することが周知され、支部枠については関西支部の片岡先生に熊野委員からお伺いをする事となった。

2. 次回開催日の確認：6月30日(火) 14:30~17:00である

6月より本委員会は田中委員長下での新体制になることが、正式に報告された。